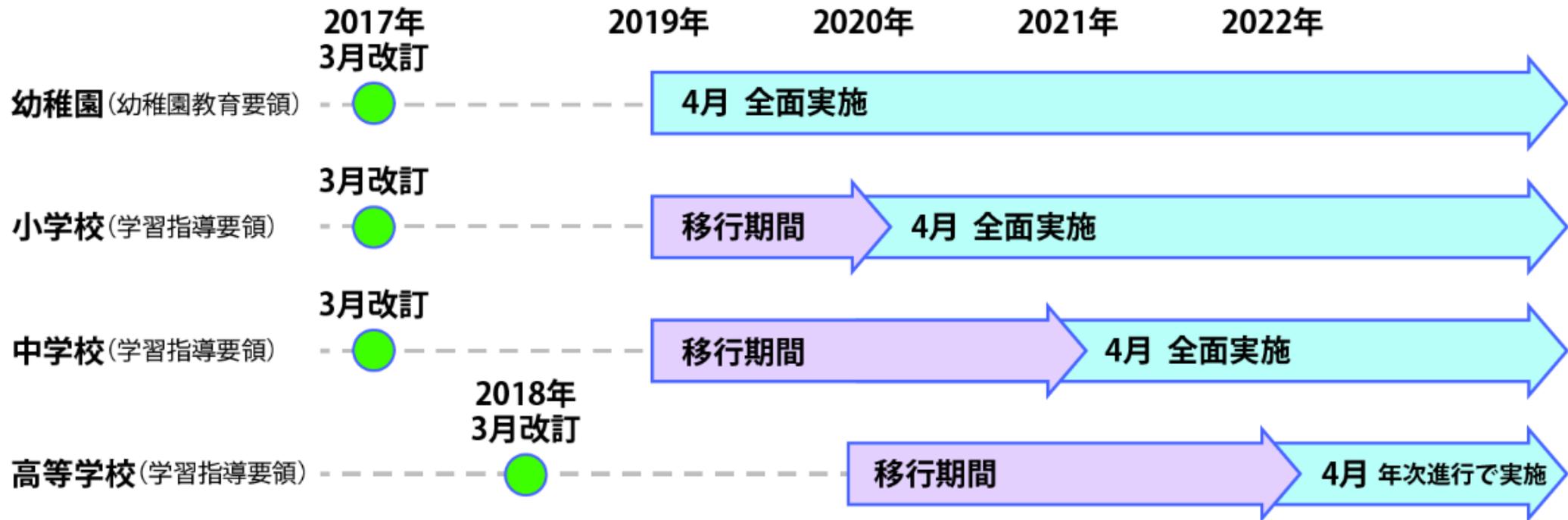


評価・評定について

令和6年5月1日
荒川区立第三中学校
教務部 能美真弓

新学習指導要領改訂

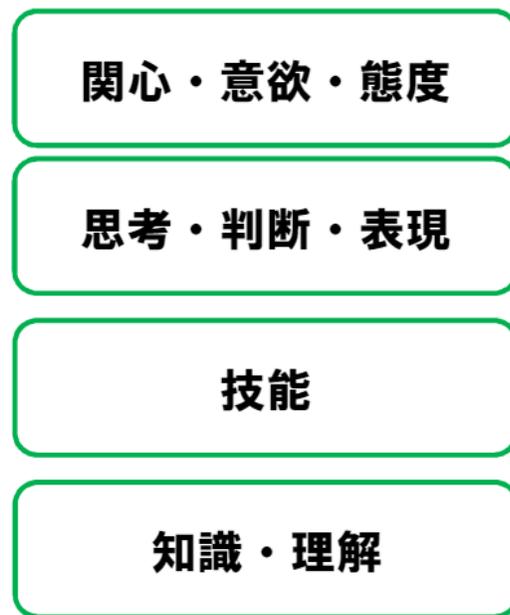


育成すべき資質・能力の「3つの柱」

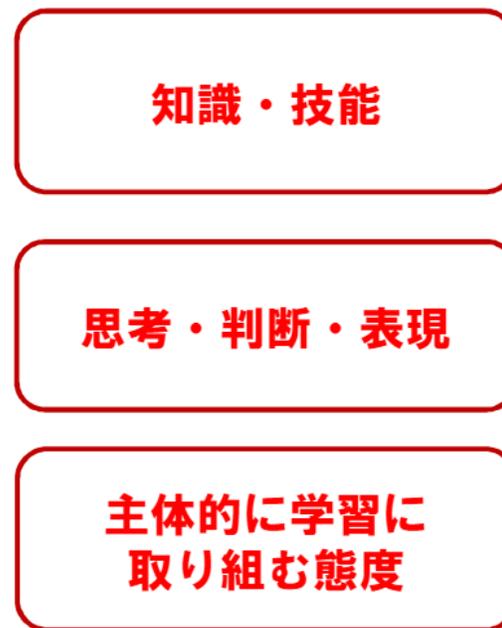


観点別学習状況の評価の観点の整理

<現行>



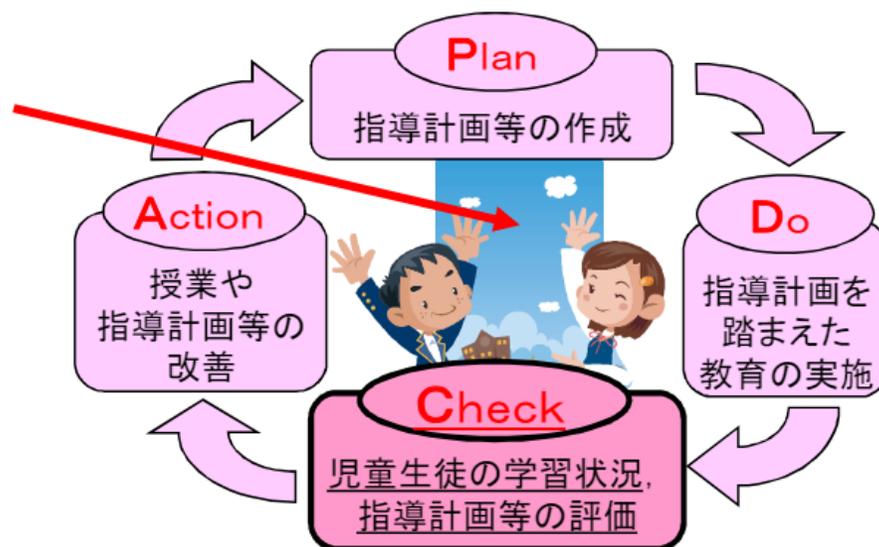
<新>



<参考資料>平成28年12月21日「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」(中等教育審議会答申)P. 61平成31年1月21日「児童生徒の学習評価の在り方について」(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会報告)P. 7□平成31年3月29日「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録等の改善等について」(文部科学省初等中等教育局長通知)2. (1)

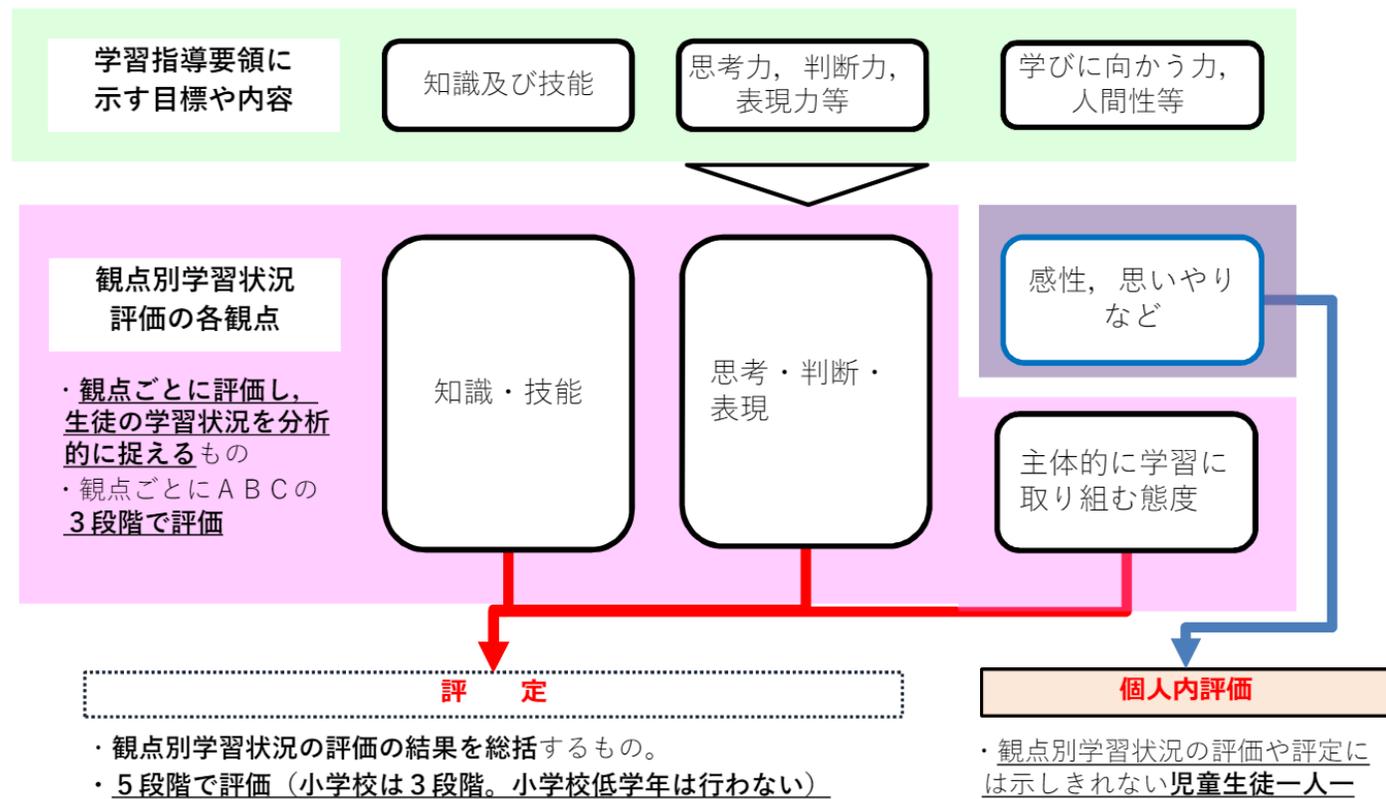
主体的・対話的で深い学びの視点

- 指導と評価の一体化を図るためには、**児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価**という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業中の児童生徒の学びを振り返り学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切。



- 特に、「主体的に学習に取り組む態度」の評価に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図る中で適切に評価できるようにしていくことが重要。

各教科における評価の基本構造



<参考資料>平成31年1月21日「児童生徒の学習評価の在り方について」(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会報告)

各観点別の評価内容

◇「知識・技能」の評価

「知識・技能」では、各教科等における学習の過程を通じた「知識及び技能」の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の「知識及び技能」と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

◇「思考・判断・表現」の評価

「思考・判断・表現」では、各教科等の「知識及び技能」を活用して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力等」を身に付けているかどうかを評価します。

◇「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「主体的に学習に取り組む態度」では、「知識及び技能」を獲得したり、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価します。

評定の出し方

資料の1ページ目を参照

- 5…『十分満足できるもののうち、特に程度が高い』状況と判断されるもの
- 4…『十分満足できる』状況と判断されるもの
- 3…『おおむね満足できる』状況と判断されるもの
- 2…『努力を要する』状況と判断されるもの
- 1…『いっそう努力を要する』状況と判断されるもの

よくあるご質問

- Q1 Aさんとテストの点数が同じだったのに、Aさんは評定が「4」で、自分は「3」だった
- Q2 ノートを出したのに、「主体的に学習に取り組む態度」が「B」だった
- Q3 テストは90点だったのに、評定は「3」だった

Q1テストの点数は同じだが評価が違う

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的	全体の%
Aさん	80%	80%	80%	80%
Bさん	90%	70%	75%	78%



	知識・技能	思考・判断・表現	主体的	全体のABC	評定
Aさん	A	A	A	A	4
Bさん	A	B	B	B	3

Q2ノートを出したが評価が「B」

「主体的に学習に取り組む態度」の評価③



<評価の工夫(例)>

- ノートやレポート等における記述
- 授業中の発言
- 教師による行動観察
- 児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いる

※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価を行う。
(例えば、ノートにおける特定の記述などを取り出して、他の観点から切り離して「主体的に学習に取り組む態度」として評価することは適切ではない。)

<参考>平成31年1月21日「児童生徒の学習評価の在り方について」(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会報告)>

Q3テストの90点、評価は「3」

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的	全体の%
cさん	90%	90%	40%	73%



	知識・技能	思考・判断・表現	主体的	全体のABC	評価
cさん	A	A	C	B	3

教科以外の評価について

○総合学習の評価

→記述式で評価する

○「特別な教科 道徳の評価」

→記述式で評価する

○担任による所見

→「三者面談に変えさせていただきます」の記述に変更する

各教科ごとの評価

冊子をご覧ください。